

< 気になるよそ様の数値 - 総資本経常利益率(X2) - >

今回は総資本経常利益率(X2)について見てみましょう。この指標も、前回の売上高営業利益率(X1)と同様に、伝統的な指標ですから、データが多くあります。右図は、平成12年5月1日現在新経審で公表されていた167,925社の分布図です。

総資本経常利益率(X2)の分子である総資本には、マイナスがありませんので、図においてマイナスになっているのは、経常利益がマイナスであるということです。また、特殊なケースとは思われますが、総資本が0の場合には、計算上は、0になりますが、「経審」上は、下限値になります。経常利益がマイナス(分類区分の関係から -0.095%以下です。)の会社は、46,863社で、全体のおよそ28%です。経常利益のマイナスの企業は少ないと言えます。

総資本経常利益率(X2)の平均値は2.320%です。ちなみに、「小企業の経営指標 - 製造業、建設業 - 1999」国民生活金融公庫総合研究所編では、平均が0.7%です。黒字かつ自己資本がプラスの企業では、3.8%です。図を見ると、平均値は、山を過ぎたところになっています。

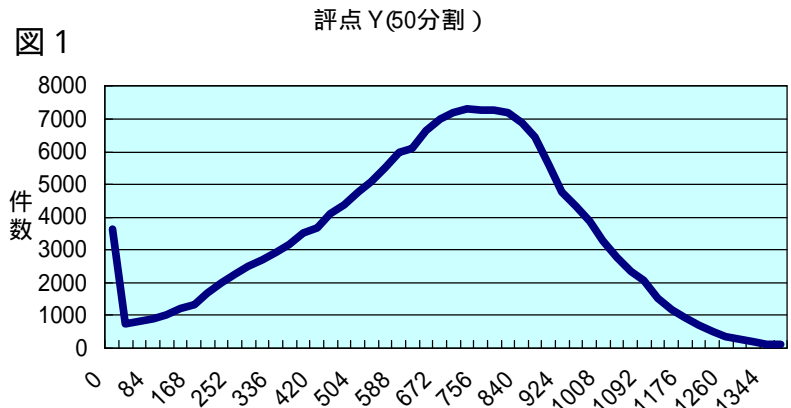
この図をみて分かることは、売上高営業利益率(X1)と同様に山が3つあることです。下限と上限と0付近です。下限と上限が突出しているのは、下限と上限が定められているからですが、0付近の山が鋭くそびえています。経常利益がプラスになってからは、売上高営業利益率(X1)と違って、落ち込みが大きくなっています。 -0.095%から1.061%までの会社が34,361社で、およそ20%の会社がこの層に集中しています。経常利益は、改正前の「経審」においても重要な指標でしたので、何としてもプラスにしたいという気持ちがよく現れています。また、同族会社の多い日本の会社においては、営業に関係しない資産を多く保有している傾向にありますので、総資本が多くて、経常利益が増えてもこの比率がよくなることが考えられます。もう一度、自社の資産内容をチェックしなければなりません。

平均点は2.320%ですから、総資本経常利益率がよいグループの存在も見逃せません。建設業はよくないと言われていても、着実に経営をしているところもあります。区分の関係から15.8%以上となりませんが、15.511%以上の会社は、14,872社

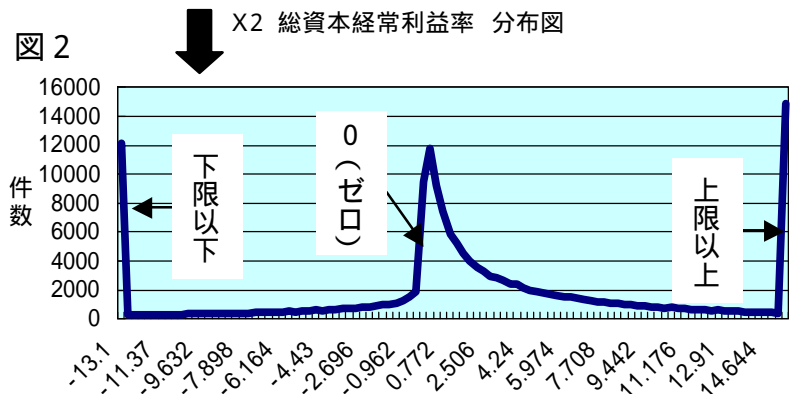
で、全体のおよそ8.9%です。やはり、よいグループと悪いグループとの財務の二極化現象がでているのかも知れません。



WISENET編集部 松村 清 (税理士)



経常利益をプラスにしようと努力



2001年3月号より「Wise FAXNET」メール配信を始めます。メール配信をご希望の方は下記にメールアドレスをご記入ください []

Wisdom デモンストレーション希望 (無償)
 資料請求 (無償)

今後「Wise FAXNET」送信不要

*すでにご注文をいただいているお客様にもこの案内は届いています。

資料請求・ご注文は上欄に必要事項を記入の上、FAXにて当社までご返送下さい。

FAX.0269-65-4745

下記にご連絡先をご記入下さい。ユーザー様で前回登録時と変更のない場合には、貴社名と担当者名、TELのみをご記入下さい。

貴社名	
ご担当者様	ご役職・部署名
ご住所 (商品送付先) 〒	
TEL	FAX

「Wise FAXNET」では「Wisdom」ユーザー様に経審に関する最新情報、経審対策のワンポイントを紹介、月一回の発行となります。内容に関するお問い合わせ、バックナンバーの請求は弊社までご連絡下さい (バックナンバーの請求は「Wisdom99/2000」をお持ちのユーザー様に限らせていただきます)。